



# The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 13 | Issue 6 | May 2010

## この号では...

- ▶春のウェルカムパーティー...p. 2
- ▶学習者像の実践...p. 3
- ▶スクールコンサート...p. 3
- ▶オフィスからのお知らせ...p. 4
- ▶MYP よくあるご質問...p. 5
- ▶フリースタディ...p. 6
- ▶スタッフ 10!...p. 7
- ▶サマープログラム...p. 8
- ▶学ぶ準備はできていますか...p. 9
- ▶Eクラスルーム案内プログラム...p. 9
- ▶KISTでのテキストの使用...p. 10
- ▶ファウンダーズ・アワード...p. 12

「言ってくれても、忘れてしまう。見せてくれてもおぼえていないかもしれない。でも、参加させてくれれば、理解することもできる。」  
アメリカ先住民のことわざ

## 学校長より

先学期の終わりに、Mr Rentouleと共にシンガポールで開催されたIBアジア太平洋地域会議に参加しました。会議の議題は、「生徒の内にある宝物の鍵を開ける」でした。沢山の重要なスピーカーが与えられましたが、特に代表的な方として、Wade Davis (ナショナルジオグラフィックの調査員)やGreg Mortensen(『3杯の紅茶』の著者、またペニー・フォー・ピースの創設者)が、より良いことのために行動する力を、生徒に備えて社会に送り出すことが、IBスクールの重要な使命であると、強調し、確認してくださいました。さらに、この会議は、アジア太平洋地域の同僚たちと交流し、アイデアを提案し合う良い機会にもなりました。現在、IBは世界中、ことさらアジア太平洋地域で急成長しており、またその成長に伴い変化し、発展しています。IBにとっても、世界中でたった141校しかないスリープログラムスクールの1校である当校にとっても、喜ばしい時期です。

早くも、学年の終わりが近づいていますので、沢山の大切な学校行事があります。1つ目は、PYPエキシビジョンです。こちらは、G5の生徒による、プライマリー・イヤー・プログラムの最後を祝う素晴らしい行事です。生徒は指導者とともに、興味のある分野の調べ学習を進めてきました。PYPエキシビジョン、MYPパーソナルプロジェクト、そしてDPエクステンデッドエッセイは、それぞれそのプログラムに応じたユニークなものですが、個人の目標達成、探求、異なる視点や理解を深めることなど、すべてにおいて共通することもあります。

KISTの生徒たちの才能を披露する次の行事は、6月5日に開催されるスクールコンサートです。ご家族の皆様がお子様を励ましに、そして様々なパフォーマンスを楽しみにコンサートへと足を運ばれ、そこでお会いできるのを楽しみにしています。コンサートの数週間後の6月18日には、G12の生徒と卒業式でお別れすることとなります。また、同じ日に、G10の生徒も、シニアスクールへ進学するため、ミドルスクールを卒業します。

ペアレンツ・アソシエーションの小協議会にご参加された保護者の皆様に、お礼を申し上げます。新しいペアレンツ・アソシエーションの制度を整える前に、もう1度、最後の協議会が開かれますので、まだご参加されていない保護者の皆様は、ぜひご参加ください。

最後になりましたが、5月22日のファミリーデーにお会いできるのを楽しみにしています。

Anne Grahame  
Head of School

## 今後の予定



- 5月18日:  
ペアレンツアソシエーション  
小協議会 (午前10時)
- 5月22日:  
ファミリーデー
- 5月24日:  
学校お休み
- 5月25 - 28日:  
クラブお休み (ESLは通常通り)
- 5月28日:  
(G5) PYP エキシビジョン
- 5月31日 - 6月4日:  
クラブお休み (ESLは通常通り)
- 6月5日:  
スクールコンサート
- 6月7日:  
学校お休み
- 6月18日:  
(G10/G12) 卒業式 (午前)  
(G12) 卒業ディナー(夜)
- 6月21日:  
年度末成績表配布
- 6月21 - 23日:  
Student transition program
- 6月21 - 24日:  
クラブおよびESLお休み



## 春のウェルカムパーティー

4月10日に開催された春のウェルカムパーティーは、大盛況に終わりました。準備に携わった皆様に、御礼申し上げます。

天候にも恵まれ、食べ物は美味しく、生徒はゲームを楽しみ、とても和やかな雰囲気でした。約650人が参加し、KISTの先生やスタッフ、そして保護者の皆様が語らい、お互いに新しく知り合う姿を見ることができました。

また、食べ物とゲームから445,117円、寄付金として201,000円、合計646,117円の利益を出すことができ、これは人工芝基金へ積み立てられます。

この行事を成功させるために、お手伝いいただき、また参加していただいた皆様に御礼申し上げます。特に、準備にご協力いただいたクラスペアレンツの皆様、そして木瀬部屋のお相模さんたちによる、ちゃんこ鍋の準備と寄付を手配して下さった坂本様御一家、そして焼き菓子を寄付して下さった保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。それでは、5月22日のファミリーデーに再びお会いできるのを楽しみにしています。

Friends of KIST Executive Committee





## 学習者像の実践!

4月23日の朝、Erin Hoover先生(G1B担任)は、世界の貧しい人々を支援するために、チーム「サウンドトラックス」とそのサポートメンバーであるEmma Homerlein先生 (PYPコーディネーター)、Marnie Hollindale先生 (K3D担任)と共に100キロを歩くことに挑戦しました。これはオックスファム・トレイルウォーカー・ジャパンによって開催された募金イベントで、4人1組のチームが草原地域の100キロの道を48時間以内に歩くというものでした。募金は、世界のもっとも貧しい地域で、貧困を終わらせ、自然災害や紛争から命の安全を確保するためのプロジェクトに使われます。

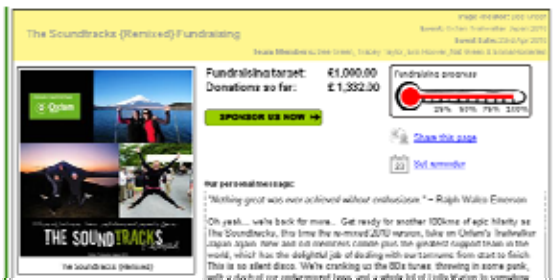
KISTのスタッフや保護者の皆様のご支援により、「サウンドトラックス」はオックスファム・ジャパンが185,000円以上募金を集めることに貢献することができました。24時間もの間、雨、雹、みぞれ、霧、そして泥の中を歩き続け、「サウンドトラックス」チームは54キロで棄権しました。恵まれない人々を助けるために素晴らしい努力をしたと思います。



### みなさんおめでとう!

#### 募金と応援のメッセージをありがとうございました。

K. International School	£175.00	KISTの皆からが応援しています! 学習者像を実践してください!
Peggy Marsh	£100.00	一番の募金者になりたいわ。みんなも負けなで!!
Sayo と Toshi Naito	£32.00	頑張ってくださいね。オックスファムトレイルウォークでの経験を聞くのを楽しみにしています。体に気をつけてください!
KISTのErin's G1 クラス一同	£50.00	いつもどうもありがとうございます。でも、たくさん歩いた後、月曜日、一緒に踊れるのかな...



イベントの詳細に関しては、以下のサイトをご参照ください。

[http://www.trailwalker.jp/en/fundraising/how\\_the\\_money\\_is\\_used/](http://www.trailwalker.jp/en/fundraising/how_the_money_is_used/)

[http://offtheplanet.typepad.com/the\\_soundtracks\\_09\\_twj/](http://offtheplanet.typepad.com/the_soundtracks_09_twj/)

## スクールコンサート

今年のスクールコンサートの日が早くも近づいてきています。生徒たちは、パフォーマンスの練習を一生懸命行っています。今年は、すべてのコンサートが船堀駅(都営地下鉄新宿線)近くの船堀タワーホールで、6月5日に行われます。この日は3部に分けられ、学校の3つのエリアによって別々に行われます。スケジュールは以下の通りです。

ローワースクールコンサート	プライマリーコンサート	セカンダリーコンサート
開場 10:00	開場 1:00	開場 4:30
開演 10:30	開演 1:30	開演 5:00
終演 12:00	終演 3:00	終演 7:30



ローワースクールとプライマリー・コンサートは、K1からG5のすべての生徒がステージでパフォーマンスをします。セカンダリー・コンサートのパフォーマーは、オーディションによって選ばれた生徒です。

3つのコンサートの詳細やリハーサルのスケジュールは近日配布いたします。

## オフィスからのお知らせ



### 2010 - 2011の学期日程

The Cometの2009年12月号でお知らせした通り、2010年から2011年の学期日程をお知らせします。行事予定の完全版も、近日明らかになる予定です。

#### 秋学期:

2010年8月23日(月) - 12月17日(金)

#### 秋学期中休み

2010年10月24日(日) - 31日(日)

#### 冬学期:

2011年1月11日(火) - 3月25日(金)

#### 春学期:

2011年4月5日(火) - 6月22日(水)

#### ゴールデンウィーク休み

2011年4月29日(金) - 5月8日(日)

### 生徒のIDカード

学校の入口ゲートを、IDカードをスキャンせずに通る生徒がまだ見受けられます。ゲートを通る際には、毎回、入る時も、出る時も、例えゲートが開いていてもIDカードをスキャンする必要があることをお子様に確認していただきますようお願いいたします。カードをスキャンすることで、生徒が入った時間と、出た時間を記録することができます。これは、何か緊急事態が発生した時に必要な情報となるので、生徒は、この手順を言われた通り必ず守る必要があります。保護者の皆様も学校へ出入りする時はIDカードをスキャンしていただけますよう、お願い申し上げます。

### 公共の場所での態度

生徒とご家庭の皆様、公共の場での態度について、学校の方針を確認したいと思います。

生徒は、

- ・ 公共交通機関での飲食をしないこと。
- ・ 公共の場で大騒ぎをしないこと。(例: 通りや、電車のホームなど)
- ・ KIST付近のコンビニエンス・ストアの前でたむろしないこと。放課後に、集まってお菓子を買って食べている生徒が歩道を遮っている姿が見受けられます。

ご家庭で、これらの3つの点についてお子様と話し合い、常に守るようにしていただきたいと思います。

なお、改善が見られない場合には、制約を作ることも考えられます。

### セカンダリー 入学同意書

入学合意書が来年KISTのG6とG11に進学するG5とG10のすべての生徒に配布されました。この書類は、MYPとDPへ進学する生徒と、ご家庭の皆様、に当校の希望を理解していただく上で非常に大切なものとなっております。よって、保護者の皆様には、お子様と、同意書の項目について話し合いをされるようお願いいたします。この書類は、保護者と生徒によって署名され、5月21日金曜日までに、直接オフィスに提出してください。

### 生徒の退学について

学年の終わりが近づいている中で、学年末にお子様を退学させようと考えていらっしゃるご家庭は、できるだけ早く生徒退学書類を提出しなければなりません。書類は、学校のウェブサイトのContactからFormsのページに進むと、手に入れることができます。

### 高等学校等就学支援金制度

KISTが「高等学校等就学支援金制度」の対象学校となりました!

対象者はG10、G11、G12です。詳しくは随時スクールから送られるEメールと東京都私学部のホームページ

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/shigaku/youshiki/shienkinkakushu/index.htm>

などをご覧ください。

## 言語、学習、そしてお祝い



4月上旬に、ローワースクールのESLの先生であるMorena Christian先生が、オーストラリアのメルボルンにて、グローバルランゲージ学会に参加しました。

Christian先生は、自分の専門性を高めるために参加しただけでなく、「英語の第二言語学習者にリーディングを教える方法」と題して講演を行いました。Christian先生は、過去から現在まで行われたリーディング教授法に焦点を当て、ESLの生徒に最もふさわしい組み合わせのリーディング教授法を紹介しました。

Christian先生、教師としての専門性の向上と、言語学習の世界的な発展への貢献のご成功おめでとうございます。

## アシスタント教員募集



通常の先生が1日不在の時に、アシスタント教員として働いていただける方を募集しております。応募条件としては、クラスの雰囲気を整える力があり、授業計画に基づいて授業をし、必要な場合はそれに加えた授業をすることができることです。応募者には、子どもに関わる仕事をした経験があり、忍耐強く安定した気質を持っていることが求められます。加えて、高い英語力も必要も不可欠です。また、学士以上の高い学位を持っていることや、教室で教えた経験があると、より好ましいです。報酬は、面接時に、応募者の教育と経験に基づいて決定いたします。CV/履歴書を添えてGreg Brunton (Primary School

Principal) [g\\_brunton@kist.ed.jp](mailto:g_brunton@kist.ed.jp) までご応募ください。



## MYP 最近ある質問

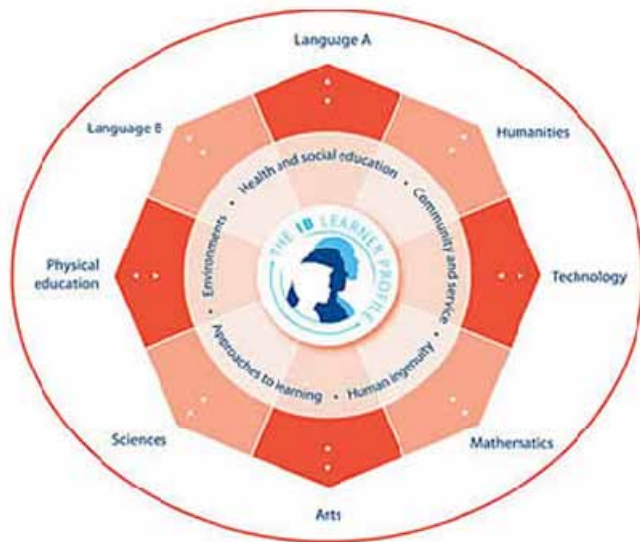
MYPコーディネーターの手引き2009-2010から抜粋, P109-110

**MYPが、ディプロマプログラムのように指導目標としてのカリキュラムや外部の評価基準にはならないのですか。**

MYPは、ディプロマプログラムとはいくつかの点で違います。MYPはひとつの年齢グループに提供され、カリキュラムは国のシステムによって様々なレベルで管理されます。MYPは枠組みとして各学校に提供され、その枠組みの中で学校自身のカリキュラムに適合させます。そして様々な言語で教えられています。

しかし、重要な点として、MYPのカリキュラムの枠組みは、教師に自分のカリキュラムややり方を再考させ、教育者の1つのチームとしてこのプログラムの根本的な原則によって教育者自身の学びが進歩し、豊かになることが求められます。

よって、MYPプログラムにも指導目標としての文書化されたカリキュラムはあります。しかし、それは、基盤となるプログラムの原則に沿って、教師たちが書いたものです。MYPの評価基準は、対象となるグループによって調整されます。ここでも、教師はチームとなって、生徒のことを一番に考えた上で、この原則を適合させなければなりません。



**第二言語学習者はランゲージAとランゲージBどちらのクラスに入りますか。**

生徒がどのクラスに入るかは、入学時に作られるランゲージプロフィールによります。

どのクラスに入るかを決める最も重要な要素は、教育言語の熟達度、学校がその生徒に教育言語として言語Bをとることを許可するか、母語へのアクセス、そして他の言語を学ぶ機会です。

もし、教えられる言語が母語でなかった場合には、これをランゲージAとして履修する必要はありません。

学ぶ言語に関する詳しい情報は、

*Learning in a language other than mother tongue in IB programmes* (April 2008)、*Second-Language Acquisition and Mother-tongue Development: A guide for schools* (January 2004)をご覧ください。



**確認:** MYPに出願する際に、生徒は、以下のうち1つを選ばなければなりません。

- 1.ランゲージA1つ、ランゲージB1つ
- 2.ランゲージA2つ
- 3.ランゲージA2つ、ランゲージB1つ
- 4.ランゲージBと、IBIによって、ランゲージAの代わりになると認められたランゲージプログラム。(母語のオプションに関しては、D3.6を、言語一般に関してはD3をご参照ください。)

**Ross Ferris**

MYP Coordinator

## ボトルキャップ収集活動の最新情報

Johnathan (G3A)によって今年のもっとも早くから始められたボトルキャップ収集活動は、とても順調に進んでいます。彼のご家族の助けもあって、40キロ、約16,000個のボトルキャップがリサイクルされました。このリサイクルによって、ECOCAPを通して、ポリオの予防接種を寄付することができました。今のところ、20人の子どもにもポリオの予防接種をできるだけ寄付ができました。ご協力ありがとうございました。まだ続いている活動ですので、各校舎の入り口にある収集場所にてボトルキャップの収集は続けられます。詳しい情報に関しては、[www.ecocap007.com](http://www.ecocap007.com)をご覧ください。

**Greg Brunton**

Primary School Principal



## フリースデ-確認

最初のページの「今後の予定」にありますように、次のフリースデ-は5月18日(火)です。この日に制服以外の服装で学校に登校したい生徒はカスミソウ基金に200円を寄付して頂くようお願いしています。カスミソウ基金はカンボジアの各地に井戸を提供しています。このフリースデ-のテーマは水ですので、生徒は青い服を着てくるようにして下さい。



妻と5人の子と住む家の前に立つSophat Lachさん。彼は、以前のフリースデ-で、カスミソウ基金を通して、井戸を寄付された3家族のうちの1人です。

KISTの過去のカスミソウ基金の参加者としての活動は以下のウェブサイトでご覧になれます:

<http://kasumisou.org/international-school.html>

すべてのフリースデ-は学校全体(ローワー、プライマリー、セカンダリー)にて行われます。このことに関するお知らせは今後ありませんので、カレンダーに印をつけておいてください。

フリースデ-の服装は学校のイメージを悪くしないようなものでなくてはなりません。また、生徒はスクールハンドブックにある服装規定を守らなくてはなりません。服装規定につきましてはスクールハンドブック(スクールウェブサイトの



Admissions >> Documentationからアクセス可)をご覧ください。

**Greg Brunton**  
Primary School Principal

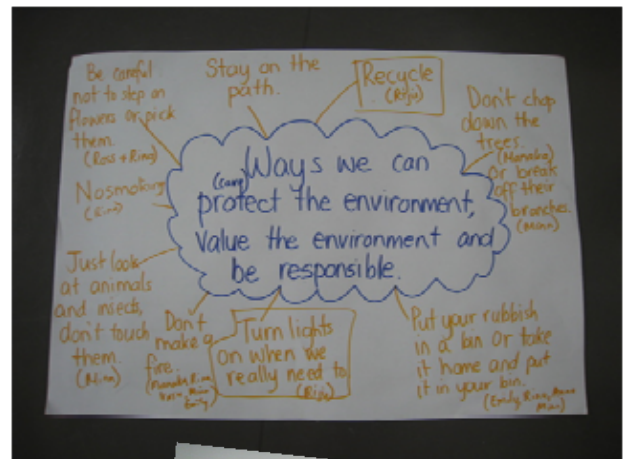
## K3 ニュース

.教室での学びと、現実世界を結びつけるために、遠足の行き先を高尾山に決め、リフレクションアクティビティーをしに行くことになりました。子どもたちは、環境を守るために、環境に良いことをするために、自分の責任で何ができそうか、学んだことを聞きました。2つのグループに分かれて、ポスターを作るために、図からメッセージを選びました。子どもたちが計画をはじめる前に、ポスターについて調べ、その特徴についても学びました。

ポスターはそれぞれ、ユニークな題名、絵と図から選んだメッセージが載っています。子どもたちは、メッセージを、それを守るべき理由や、その行動によっておこる結果などで飾っていました。

子どもたちはみんなで協力して、お互いの視点について考えました。また、順番に図のそれぞれの部分を完成させ、譲り合うことも学びました。

### The K3 Team





## スタッフ 10!

スタッフ10! は、The Cometの新しい特集記事で、先生やスタッフのあまり知られていない一面について10つの質問をすることによって紹介していきます。毎号で、違う先生やスタッフが取り上げられます。今月は、2005年からKISTに勤めている、イギリスのバーミンガム近郊の町から来たESLのNoël Southall先生をご紹介します。



春のウェルカムパーティーで発表をするSouthall先生 2010/4/10

●**何か、故郷の面白いことを教えてください。**

バーミンガムは、キャドバリーのチョコレートで有名です。世界中で有名ですが、実はボーンビルという、チョコレート工場で働く人々のための家を提供した小さな町からすべては始まりました。

●**世界で一番好きな場所はどこですか。**

好きな場所は1つには絞れません。様々な理由からいくつかの好きな場所があります。もちろん、日本に住んでいることも好きです。

●**もしチャンスがあるならば、誰に会いますか。そしてその理由は何ですか。**

ESLの試験で同じ質問があり、多くの生徒が答えに困っていましたが、今になって私もその気持ちが分かります！おじいさんですね。理由は後で述べる通りです。

●**何か特技はありますか。**

たくさんの方が、機会があれば私がギターを弾いたり歌ったりするのは知っていると思います。和食を料理するのも好きですね。

●**自分についてあまり知られてないことを教えてください。**

私が折り紙をやることは皆さん知っていると思いますが、実は折り紙インストラクターの資格を持っています。折り紙に関して結構真剣です。私の作品は以下のページで見てください。

[http://www.facebook.com/album.php?](http://www.facebook.com/album.php?aid=218250&id=898860213&l=f647037608)

[aid=218250&id=898860213&l=f647037608](http://www.facebook.com/album.php?aid=218250&id=898860213&l=f647037608)

●**宝物は何ですか。**

この質問は、一番失くしたくない物は何ですかという質問と解釈するまで、答えるのがとても難しかったです。それは、おばあさんがくれた小さな折りたたみのハサミです。私が生まれる前に亡くなったおじいさんのもので、私はおじいさんによく似ていると言われるので、とても大切なものです。

●**自分をどんな言葉で表しますか。**

自分では分からなかったから他の先生に聞きましたが、献身的、几帳面、注意深い、情熱的などと言われました。良いことばかり言ってくれましたね！

●**もし、もう一度人生をやり直せるとしたら、何か別のことをしますか。**

時間を無駄にしたことを一番後悔しています。私が幼いころ、時間は永遠にあるものだと思っていたし、周りの大人もそう言っていました。けれども今は、社会人として生活していると、時間を取られることが多いことに気がついて、自分が本当にしたいと思うことができる時間はごくわずかです。

●**今、何か学んでいることや、改善させようとしていることはありますか。**

改善したいことはたくさんあります！教える方、時間管理能力、環境保護のための努力、几帳面さ、日本語…全部かもしれません！

●**何かファンに一言お願いします。**

ファン？私の？ファンがいるのだとしたら言いたいことは「ありがとう！」ですね。

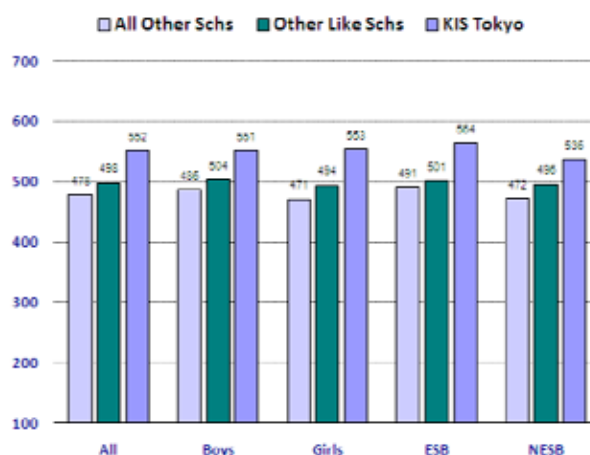
## ISA テスト—数学

最近、ISAテストの結果が出ました。以下に、G7とG9の成績を他の学校や、KISTと似ている学校と比べて表しているグラフです。この結果は、MYPの数学プログラムの良い影響を裏付けるものだと考えています。グラフは、他校の生徒と比べてG7、G9ともに一貫して良いことを表しています。

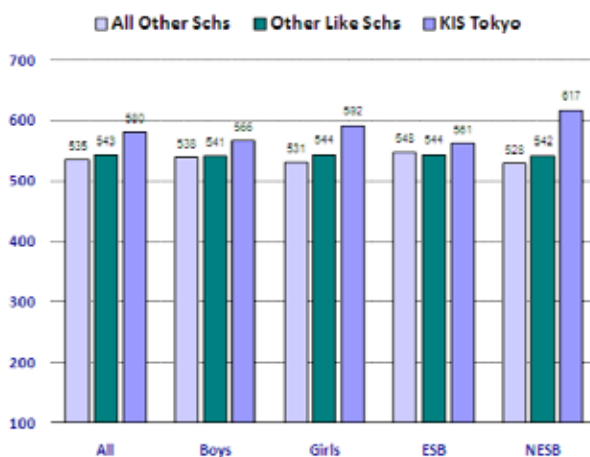
Ross Ferris

Subject Area Coordinator: Mathematics (Secondary)

Scale means for ISA Grade 7 Math

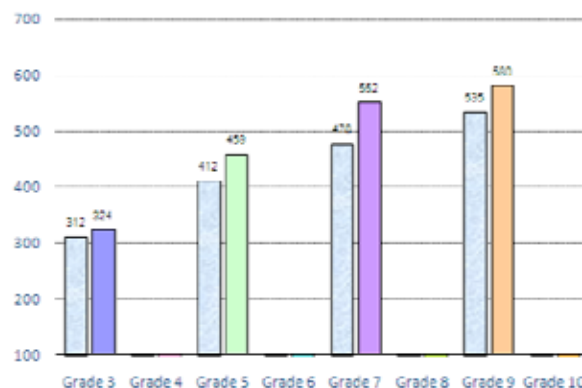


Scale means for ISA Grade 9 Math



Scale means in All Other Schools by Grade: Math

KIS Tokyo Scale means by Grade: Math



## サッカーレポート

春学期中、サッカークラブは全力で取り組まれてきました。Mr Ralphの指導のもと、18歳以下のチームは、KISTの真新しい人工芝で、他のインターナショナル・セカンダリースクールを相手にシーズンを幕開けしました。厳しい試合でしたが、チームはRyousuke(G10)の3ゴールと、Shinnosuke(G8A)、Claude(G10)のゴールによって、6-5で勝利を飾りました。次の試合は、コロンビアインターナショナルスクールで行われ、多くの有力な選手を欠く中、非常に良い試合をし、0-3から、2-3まで巻き上げ、RyousukeとShinnosukeがこの試合でもゴールを決めました。

14歳以下の男子、女子のチームも今年のサッカーキャンペーンの中で最も良いシーズンとなりました。シーズンは、曇り空の水曜日の午後、当校の校庭で東京インターナショナルスクールとの試合から幕を開けました。Mr Heppenstallにコーチされる男子チームは、素晴らしい試合をし、6-1でTISを下しました。Bilal(G8B)はなめらかにシュートを決め、Motoi(G6A)のとても印象的なディフェンスに助けられ、Kai(G6B)のゴールで試合を終えました。次の試合は、東京ブリティッシュスクールとの対戦で、BSTにて、とても暖かい春の日に行われました。2-5で負けてしまったものの、Awais(G8A)やJung Hun(G8B)による素晴らしいゴールが見られ、部分的に素晴らしいプレーが見られました。

Mr Farquharの指導のもと、女子チームは、TISIに6-0で圧勝し、シーズンを開幕しました。ゴールキーパのHannah(G8B)は非常に良いプレーをし、試合中に1点もゴールを許さない様子でした。また、Anisha(G6B)、Shally(G7C)、Stella(G7C)は素晴らしいゴールを決めました。2試合目は、BSTとアウェイで行われた試合でした。こちら、選手たちは素晴らしいプレーをしましたが、最終的に、1-5で負けてしまいました。けれども、選手たちはこの2試合での健闘を誇りに思うべきです。チームは、BSTと再び試合をする日を楽しみにしています。

試合を応援しに来てくださった先生方、保護者の皆様、そして生徒の皆さんに御礼申し上げます。今シーズンはまだいくつか試合が残っていますので、より多くのサポーターが観戦に来てくださればと思っています。コーチなしでは、スポーツプログラムがこの様に成功することはありませんでしたので、

最後に、コーチの皆さんに厚く御礼申し上げます。

**Will Spring**  
Sports/PE Coordinator



## サマープログラム

The Cometの前号でお知らせした通り、KISTでは、集中的な学習によって学力を高めたい生徒のために、様々なサマープログラムを実施いたします。低学年のプログラムでは、英語力、数学、その他の科目を網羅し、高学年では、プログラムによって、英語か数学、または英語と数学を扱います。実施するプログラムは以下の通りとなっております。

### K2 - Grade 1

夏休みプログラム と アフタースクールケア

### Grades 2 - 6

夏期学習プログラム

### Grades 7 - 8

夏期集中プログラム(英語/数学)

### Grades 9 - 10

夏期集中英語プログラム

### Grades 9 - 10

夏期集中数学プログラム

### Grades 11 - 12

夏期集中数学予習プログラム

申込方法を含む詳細に関しては、当校のウェブサイトをご覧ください。

### ESL生徒のための夏期支援プログラム

ESLプログラムを履修しているお子様がいらっしゃる保護者の方は、ESLの生徒のためのサマープログラムはあるのかと疑問に思っていることと思います。今年のサマープログラムはESLの生徒のためだけに計画されたものではありませんが、ぜひESLの生徒にも参加していただきたいと思っております。学校のウェブサイトでご確認済みかもしれませんが、このプログラムでは様々な学習ができるようになっており、その多くは、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングなどの語学力を向上することに焦点をあてています。新しいことを学ぶ時には、練習すればするほど上達するものです。よって、お子様が初めて英語を話すのであっても、高い英語力があるものであっても、サマープログラムは語学力の向上をサポートできるものとなっております。





## 学ぶ準備はできていますか。

「レディネス」は、学習を成功させる上で最も必要不可欠なものです。けれども、「レディネス」のは、いったいどういうことを指すのでしょうか。誰に当てはまることで、なぜそんなに大切なのでしょうか。

「レディネス」は、学問をする準備ができていて、向上する準備ができていて、そして気持ちの準備ができていて、様々な言い方をされますが、これらがすべて働いてこそ、学習者の学習や、新しいことを身につけることが成功します。当校のスタッフの間で、「レディネス」は、新しく学んだ知識をかけるフックに例えられます。これらのフックは、学ぶ以前からある知識であり、新しいことを学ぶ上で必要なスキルや経験です。新しく学んだことをこれらのフックにかけることによって、古い知識と新しい知識をつなげ、学びを意味のあるものとし、長く記憶に残すことができます。ふさわしいフックがない場合、新しく学んだことは、意味がなくなり、すぐに忘れてしまいます。

人々が皆、外見や性格、興味関心が違うように、「レディネス」は、人によって異なります。子どもによっては、4歳や5歳で、読むことを学ぶ準備ができている場合もあれば、6歳や7歳になるまで準備が整わない子どももい

ます。保護者として、教育者として、私たちはこの違いを理解し、それぞれの子どもが、自分の準備ができてい段階の学習をできるように手助けするべきです。この段階はクラスメイトや兄弟とは異なるかもしれません。よって、受け止めることが困難な場合もあります。けれども、4歳の子どもたちの内、雲梯にぶらさがることができる子とできない子がいるからといって、できない子が劣っているわけではありません。ただ、雲梯にぶらさがることのベースになる運動能力を作る経験をまだしていないだけなのです。準備が整えば、先にできていた子どもと同じように自信を持って、雲梯にぶらさがることができます。

「レディネス」は、子どもだけに関係する話ではありません。大人も、人生で様々な経験を通して準備ができていて、またできていないということを経験します。日本に初めて来る先生方も、日本語を学ぶ上で様々な「レディネス」を経験します。人によっては、飛行機を降りてすぐ、準備ができていなければならないという内的なモチベーションが上がることもあるでしょう。他には、日本人や日本文化に触れ、理解してから学習に挑む準備が整う人もいます。すべての先生は、準備ができてい

ればそれだけ意味のある学びができ、より高いレベルに到達することができますと感じています。

保護者の皆様としましては、お子様との関わり中で、様々な段階の「レディネス」を経験されていると思います。一番良い例えは、お子様を初めて学校へ送り出す時にどう感じるかということです。自然で簡単なプロセスに思える方と、不安と緊張でいっぱいになる方がいらっしゃるでしょう。様々な異なる場面で、お子様から距離を置き、独立させる自分の力がどのようなものか経験すると思います。しかし、お子様が一人ひとり違って良い様に、大人も一人ひとり違って良いのです。「レディネス」について意識をすることが、新しい学習や経験を成功させる第一歩です。「レディネス」について友達や先生、子どもと話すことを通して、私たちの学校コミュニティ内での個々の生き方の違いを知り、認め合うことができることでしょう。

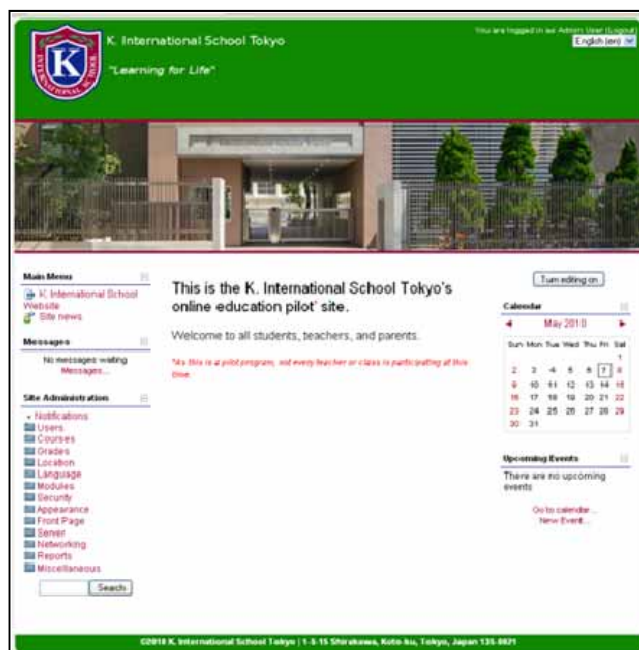
**Amanda Cooke**  
Lower School Principal

## KIST Eクラスルーム パイロット・プログラム

インターネットが普及する今日において、生徒が学習の成果を出すためには、オンラインで学習関係の資料にアクセスできることが重要なポイントになりつつあります。これを考慮した上で、当校ではMoodle Moodleという名前のLMS(学習管理システム)を基盤としたオンラインのクラスルームを開くことになりました。このシステムは、世界中の学校や大学、例えばUniversity of BathやMITで使用されていて、その特徴や使い勝手の良さを理由に、沢山の選択肢の中から選ばれました。

Moodleは、メッセージボードや、アンケート、そしてウィキを通して、生徒と教師のコミュニケーションをやすくし、また授業で扱うPDFやパワーポイントにオンラインでアクセスできるようにし、オンラインクイズや課題を通して、家庭学習ができるようにします。KISTでは、有志の先生方がこのシステムを生徒と共に試験的に使い始めています。この試験的な使用がうまくいけば、来年度、学校全体で使用する予定です。最新の情報をお待ちください。

**Christian Thompson**  
Education Technologies Integrator



## KISTでのテキストの使用について

### 知識に基づいた理解

本校では、理解は、知識に基づいてしかできないと考えています。生徒の知識を積み上げるために、IBプログラムの探求の單元では、様々な資料にあたることを求め、情報を手に入れるために、一次資料(元の資料から)と二次資料(別の資料から)の両方にあたるようにしています。

### 探究サイクルプロセス

IBスクールとして、当校のカリキュラムは、探求やアイデアの発表のために、沢山の機会を生徒に与えなくてはなりません。(IB, *Programme Standards and Practices*, 2005) KISTでは、すべてのプログラムにおいて、生徒の学習を様々なステージがある探究サイクルの中に置いています。

- 提出する -探究のための計画
- 探す -情報の収集
- 整理する -情報の整理
- 掘り下げる -他のこととつなげ、一般化する
- 反映させる -学んだことを考える
- 行動に移す -分かったことを行動に移す
- 理解したことを表現する -学んだことを伝える

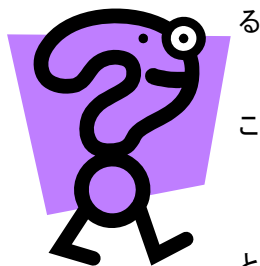
探究サイクルのすべてのステージは、探究の單元の中で、生徒を様々な情報にアクセスさせます。

### 構成された探究プロセス内のアクティビティー

探究サイクルの中で、構成された探究活動の段階を踏むことで、生徒たちは様々な活動に携わることとなります。

- 熟考すること、探究すること、疑問を持つこと
- 新しく学んだ情報と、既に知っていた情報をつなげること
- リサーチすること
- 理論を発展させること、試すこと
- データを集めること、発見を報告すること、説明を構成すること
- 既に存在するアイデアを明らかにし、物事の理解を再評価すること
- 推論を証明すること
- 自分の立場を見つけ、守ること
- 問題を様々なやり方で解決すること
- 分析すること、評価すること
- 他の説明方法を考えること(IB, *Towards a Continuum of International Education*, 2008)

探究サイクルのすべてのステージは、探究の單元の中で、生徒を様々な情報にアクセスさせます。



### 探究ベースプログラムでの批判的思考 (クリティカルシンキング)

クリティカルに考えるということは、生徒がテキスト、議論、意見について自分でよく考え、分析することにより、述べられていることをただ受け入れるのではなく自分で判断することです。(IB, *Towards a Continuum of International Education*, 2008) 批判的思考は探究ベースの学習法の中心となるスキルで3つのすべてのプログラムで育てていきます。批判的思考力を育てるには、探究ユニットに関する幅広い情報源にアクセスできることが必要です。



### 変化する世界の特質

21世紀を生きる効果的な学習法は、次のようなものであるとされています。

- 知識ベースが急速に増加するため、学習者はただ知識を習得するだけでなく、知識を処理し評価することが求められる
- 世界は急速に変化するため、生徒は未知のことを予測し、変化をただ受け入れるのではなく、それに適応する事が求められる
- 学習者が効果的に機能するためには、学問的な能力だけでなく、自信を育てることが重要である。認知能力の他に情緒的な気質も学習の核である
- 建設的な批判的思考は個人および集団が生き延びるために必要なツールである。生徒は分別と無分別、プロパガンダと真実を区別し、しっかりとした情報にもとづいた判断をすることを学ばなければならない。

(IB, *Towards a Continuum of International Education*, 2008)

自分が生きていく世界で情報をもとに責任のある決定ができるようになるためには、生徒はユニットに関する情報への幅広いアクセスを持つ課程を通して、自分でさまざまな情報源にアクセスし、その情報源の価値を判断できるようなクリティカルな意識を持った生涯学習者になる必要があります。

### 探究ユニットを計画する

ユニットプランを立てる際に、教員は計画された探究のプロセスの一部として様々な情報源を用意します。探究ユニット計画文書に載る情報源として次のようなものが考えられます。

- 個別の教科書(適切な場合)
- クラスで使ういくつかのテキスト
- Questia オンラインリソースバンク  
補助教材(図書館の本、オンライン資料、一次資料など)
- 学習者がすでに習っている知識
- ゲストスピーカーなどコミュニティ内の情報源



(10ページからの続き)

## MYP と DPの教科書について

時には、教科書を探究ユニットの情報源として使用することもあります。それは次のような理由からです。

1. ある特定の教科書には、探究ユニットのKIST Scope and Sequence 文書に密接に関連する知識の重要な要素が含まれている
2. 探究ユニットで扱うアクティビティーの中には、全ての生徒が同時に同じ情報にアクセスしなければならないことがある

どの探究ユニットでも、一冊の教科書だけが情報源となることはありません。従って、学際的テーマで構成されているPYPでは、一つのテキストだけでかなりの量の知識をまかなうということはまずありえません。これはMYP とDPIにのみ関係していることです。



2010/2011年度から MYP の生徒はいくつかの教科書を各自購入してもらうことになりました。DPでは、従来通り生徒が所定の教科書を購入します。MYPとDPで使用する教科書の検討は、現在最終段階に入っています。必要な教科書のリストと購入方法については5月末に各家庭にお知らせします。

**Damian Rentoule**

Deputy Head of School/Curriculum Director

## Family Day

スクールカレンダーにありますように5月22日(土曜)は学校年中行事であるFamily Dayが行われます。この日は、生徒、保護者、スタッフが楽しいゲームアクティビティーを通じて親睦を深めて頂くためのイベントです。日本では昔からコミュニティーの交流を活性化させる目的で運動会が行われており、当校もその手法を取り入れた、日本式運動会の内容となります。また当日は、全校家族が集まるまたとないチャンスですので、学校に関する様々な情報をご案内させて頂く場ともなります。



当日は全校生徒登校日です(DP試験中の12年生は任意)。翌24日の月曜日は振替休日です。



今年度はまた、Family Day当日に本館2階図書室において英語および日本語の各種書籍や教科書の販売を行っておりますので、ぜひ、皆様お誘い合わせのうえ、図書室にもおこしください。

22日にお会いすることを楽しみにしています！

## Advertisement

**BARGAINS!! BARGAINS!! BARGAINS!!  
AND STILL MORE  
BARGAINS!!**

**NO PETS ALLOWED NO PARKING AVAILABLE**



**AMERICAN EMBASSY  
COMMUNITY SIDEWALK SALE**

**WHAT:** Lots of good sale prices on a range of books, household and clothing items

**WHEN:** SATURDAY, MAY 15  
9:00 AM - 2:00 PM

**WHERE:** AMERICAN EMBASSY HOUSING COMPOUND  
2-1-1 Roppongi, Minato-Ku, Tokyo  
(Near Tameikesanno Subway Station)

Notes:

- Only Grew Gate entrance will be opened.
- All bags will be inspected when entering compound.
- Photo-ID required for admittance.

**EVERYONE WELCOME!**

## 日曜大工の得意な方を募集しています

引き続きメインプレイグラウンドに砂場を作るお手伝いをして頂ける、日曜大工の得意な保護者の方を1-2人募集しています。材料の買い出し(費用は学校が出します)と砂場作りを1日ほど手伝って頂きたいと思っております。Amanda とGregと共に砂場のデザインをすることになります。



Primaryの低学年の生徒にとって掘ったり、何かを作ったりできる砂場はこの年齢の社会的、身体的、学習的発達にとっても重要です。私たちは生徒がグラウンドを掘り返すことを止める代わりに、砂場の約束をしました。どうか、日曜大工が得意で時間のとれる方はAmanda Cooke [a\\_cooke@kist.ed.jp](mailto:a_cooke@kist.ed.jp)までご連絡ください

## ファウンダーズアワード2010-2011



KISTファウンダーズアワードは学校創設者で学校理事長あるMr and Mrs Komakiによって設立されました。アワードの財源は学校創設者のアワードのための寄付により賄われ、学校設立の目的や理念に沿った学校作りに著しく貢献し、愛校心を象徴するような資質を示した生徒に奨学金(学費免除)という形で授与されます。

アワードには下記の3つの種類があります：

カテゴリー	賞金
ゴールドアワード	1年間の授業料は全額免除
シルバーアワード	1年間の授業料は半額免除
ブロンズアワード	1年間の授業料は25%免除

アワード受賞者は、1年間の授業料のみ免除されます。その他の学費は全額お支払い頂くことになります。アワードの受賞基準を満たす申込者がいない場合は、アワードは授与されません。

### 申込資格と審査基準

アワードの受賞基準は創設者により設けられ、学校の3つの行動基準である「尊敬、責任、安全」、そしてこれらによって設けられた学校の規則や方針に基づいたものになります。以下を満たす生徒が2010-2011学年度のアワードに応募できます：

- 2009-2010学年度の初めまたはそれ以前にGrade 9, 10, 11に在籍している生徒。
- バランスの取れた学業成績を収めた生徒。MYPの生徒：全ての教科で4以上かつ成績の良い6つの教科の予測合計スコアが38以上。DPの生徒：予測合計スコアが38以上。
- 評価対象期間において出席すべき日数の内、欠席(遅刻・早退を含む)が5%未満である生徒。但し、インフルエンザなどの伝染性の病気欠席や慶弔休暇などやむを得ない事情がある場合は考慮されます。
- Community & Service (MYP)またはCreativity, Action, Service(DP)の役割を終わらせる見込みの生徒。
- すべての分野において、常に責任のある行動をしている生徒。これには期待される行動基準をおおむね満たし、学校の身だしなみ規定(スクールハンドブックに記載)におおむね反していないということが含まれます。
- クラスに対しまじめに勉強に取り組む環境作りに貢献している生徒。(例：授業においてまじめな意見交換が活発に行われるムードメーカーになった、他の人の勉強をサポートしたなど)
- 学校設立の目的や理念に沿った人の良き模範となる行動を取っている生徒。(例：利他的な行動、いじめを黙認しない行動をとるなど)
- 学校設立の目的や理念を理解し、それに沿って子供や学校をサポートしているか。
- 学校の行事とサポートプログラムに参加し、親に求められる義務を果たしているか。

### 申請方法

申請受付期間：2010年5月10日(月) - 2010年6月4日(金)

申請書および必要書類をオフィスに提出してください。6月4日(金)午後6時まで  
必着

受賞者発表：2010年6月18日(金)

### 必要書類

- 申請書
- 自己紹介文
- 推薦状



応募要項等他詳細、申請書等 必要書類は下記のホームページをご覧ください

<http://www.kist.ed.jp/node/197>